

奄美の生き物を守るため、持続可能な
利用ルールづくりにご協力ください。

実施期間

令和3年
(2021年)

4/29^木~5/9^日
各日19:00~翌6:00

三太郎線周辺における 第2回 ナイトツアー実証実験

令和3年ゴールデンウィーク 三太郎線周辺において 夜間利用ルールを試行します。



アマミノクロウサギ

ナイトツアー 実証実験とは？

世界自然遺産推薦地となっている
三太郎峠周辺の貴重な自然を
保護し、持続可能なナイトツアーの
ルールを確立するため、台数制限等
の実証実験を行います。皆さまの
ご理解とご協力をお願いします。

予約方法

3月25日9:30予約開始

WEB予約

24H受付可



予約QR

現地予約

右記の施設ではタブレット
での予約が可能です。施設
のスタッフが受付のサポートを行いますので
お気軽にお声がけください。(各施設への電
話での問い合わせはご遠慮ください。)

○上記のいずれでも予約が困難な場合は下記の実験事務局にご相談ください。

実証実験期間中の利用ルール

- ★三太郎線:台数制限(1時間4台まで)。
WEBでの事前予約制。入口指定。
- ★スタル俣線:夜間通行止め
- ★第2回ナイトツアー実証実験利用のルール
(裏面参照)の順守をお願いします。
- ★夜間の動物観察に不慣れな方は、ガイド利用
(有料)を推奨します。

◇三太郎の里

奄美市住用町摺勝555-13
開館時間9:30~17:30

◇奄美野生生物保護センター

大和村思勝551
開館時間9:30~16:30(月曜日(祝日は除く)、5/6は休館)

実証実験 | 奄美大島三太郎線周辺における夜間利用適正化連絡会議
実施機関 | 事務局 環境省奄美群島国立公園管理事務所、鹿児島県環境林務部自然保護課、
奄美市プロジェクト推進課、奄美市住用総合支所市民福祉課

<お問い合わせ> (対応時間 9:30~18:00)

実証実験事務局(環境省奄美群島国立公園管理事務所) TEL:090-5286-1218

実証実験の詳細については
環境省沖縄奄美自然環境事務所ホームページより
ご確認ください。



環境省QR

三太郎線夜間の利用方法について

- 夜間の野生動物観察に不慣れな方は**ガイドの同行（有料）を推奨**しています。奄美大島エコツアーガイド連絡協議会の所属ガイド一覧は右のQRコードから確認できます。
- 自身で夜間に三太郎線を利用する場合は、以下の実証実験利用のルールに同意の上、**事前にWEB上の予約システムまたは現地端末（三太郎の里、奄美野生生物保護センター）**で予約を行ってください。（予約は表面QRコードから）



ガイドQR

- 利用台数を調整し車同士の遭遇を減らすため、予約の際は**入る「時間」と「入口」を設定**しています。**決められた入口から時間厳守**での利用をお願いします。
- 仮予約や無断キャンセルはしないでください。
- 当日現地にスタッフはおりません。利用状況把握のため、予約時間になったら入口付近に設置されたカメラの前をゆっくり車で通過し、利用を開始してください。



第2回ナイトツアー実証実験利用のルール

○他の方の野生動物観察機会の確保、トラブル回避のため緊急時以外Uターンはしない。

○貴重な自然を守るため、スタル俣線は通行しない。

○石原栄間線を通行した際は異常の有無を報告する。

・石原栄間線は未舗装道路で危険です。やむを得ず利用した場合は密猟対策の一環として、不審者の有無、昆虫トラップの有無、その他異常がなかったか翌日までにメールで利用の報告をしてください。

報告先：環境省奄美群島国立公園管理事務所 RO-AMAMI@env.go.jp

○時速 10km 以下で走行する。

- ・野生動物の交通事故防止のため、極低速を控えて走行する。
- アマミノクロウサギだけではなく小型の両生類、爬虫類、甲殻類などにも気をつけて走行する。



○前の車に追いついたら一旦待機し、無理に追い抜かない。

- ・追いついたら合図ができるまで後ろで待機し、前の車両が左ウィンカー出したら追い越す。

○十分観察できた場合は後続の車に先頭をゆずる。

- ・前の車は観察が終わり次第左ウィンカーを出し、追い越してもらおう。
- ・皆が楽しめるよう、ゆずりあって利用する。

○動物から離れて、静かに観察する。

- ・生き物を探すライトは車につき1本とする。
- ・手持ちライトで逃げていく生き物をしつこく追わない。
- ・大声を出さない。
- ・動物には触らない。動物に餌を与えない。
- ・車のドアを勢いよく閉めない。



追い抜きOKの合図は
左ウィンカー！



前の車が生き物を観察中かも。合図ができるまで後ろで待とう！

○カエルやイモリ、オタマジャクシ等の生活の場である水たまりはなるべく車で踏まない。

○対向車が来たときや前の車に追いついたときハイビームはやめる。

○ペットを連れていかない。